

第1回 建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会
議事要旨

1. 開催日時：平成30年11月20日（火）13：30～15：00
2. 場所：中央合同庁舎第3号館4階特別会議室
3. 議事
 - （1）今後の進め方について
 - （2）建設現場の現状と課題
 - （3）関係団体等の取組み
 - （4）その他

主な議論の内容は以下の通り

- 建設現場で働く人々の「誇り・魅力・やりがい」の向上に向けた取組を行うに当たっては、一般の人を建設業界へ流入させ、流出させないことが必要。
- 土木という仕事の特性上、世の中に評価される時期と働いている時期が異なるため、見える化自体が難しい。
- 建設業界には、UI（User Interface）とUX（User Experience）という、ユーザーと情報の接点、またそれを通じて得られる体験価値の視点が不足している。
- 各団体等で行っている様々な取組自体が、点になっている印象がある。例えば、各取組をオープンソース化した、プラットフォームを作ってはどうか。
- 建設の魅力は、ダイナミックさ、社会貢献につながっていること、意外と新しいことだと考えている。しかし、一般の人々と建設業従事者の社会貢献に対する意識差は大きい。また、建設業界でICT技術、ロボット等が活用されていることは、一般の方に伝わっておらず、広く伝えていけるとよい。
- 広報活動には、外向け、中向けとあるが、中の方のモチベーションを上げていく取組みだけでなく、外向けに取り組んでいくことが中の方たちのモチベーションにつながり、相乗効果をもたらす。

以上